

第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 参加要領

1. 参加申し込み手続き

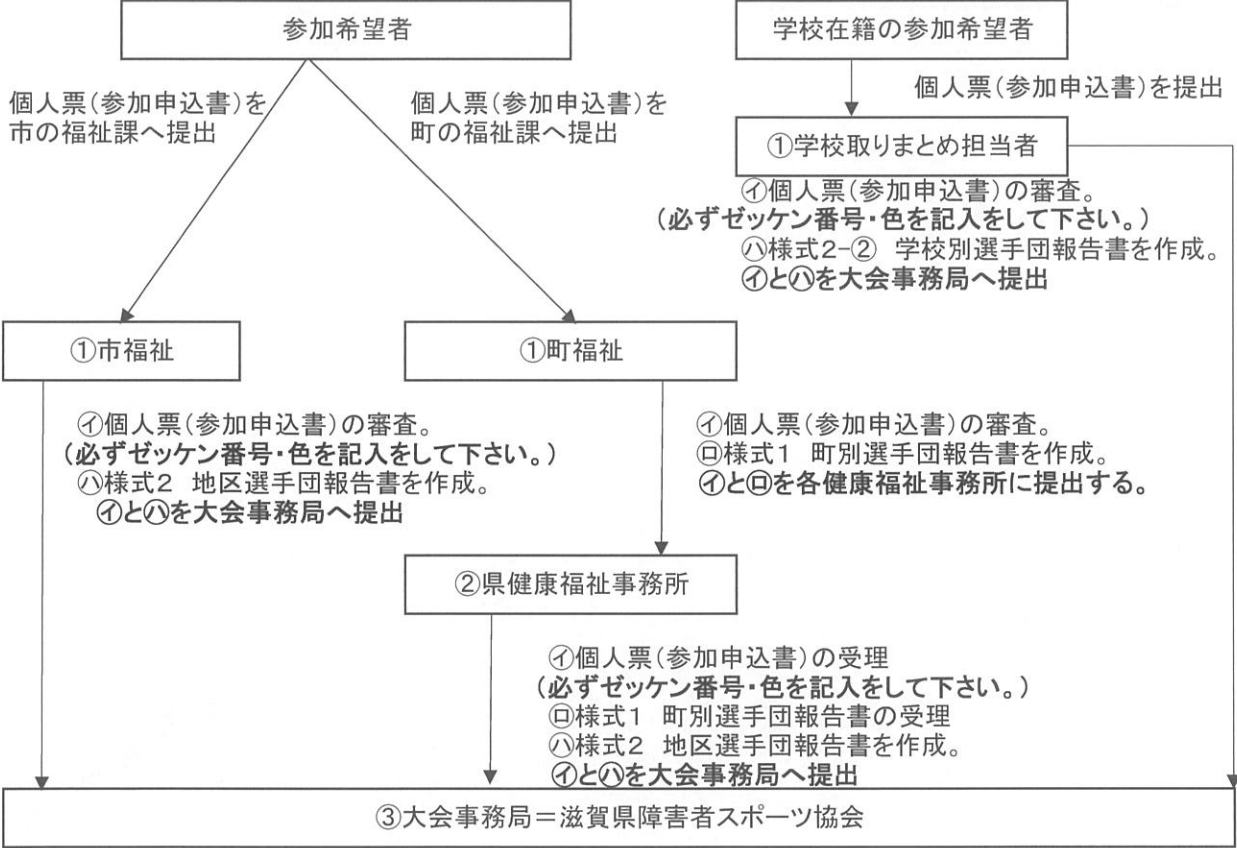
個人競技の参加申込手続きは、次のとおりとする。各期限内に必要な書類を添え提出すること。（団体競技は、協会より各チームあてに事前エントリーの案内を郵送します。）

個人競技の参加希望者から所属団体および関係団体へ参加申込書の提出があった場合は、お住いの市・町障害福祉担当課へ提出できるようご指導・ご支援のほど、ご協力をお願いします。

※様式1・2および申込書は参加競技別に提出するものとする。

ア. 個人で参加申込みをする場合

イ. 特別支援学校で参加者を取りまとめる場合
（フライングディスク・陸上・卓球に限る）



2. 申込期限

提出期限	ボッチャ	フライングディスク	陸上	水泳	アーチェリー	ボウリング	卓球
期限① 参加希望者→市・町・特支学校	7月11日(木)	7月11日(木)	7月11日(木)	8月1日(木)	8月1日(木)	8月1日(木)	9月26日(木)
期限② 町→県健康福祉	7月17日(水)	7月17日(水)	7月17日(水)	8月7日(水)	8月7日(水)	8月7日(水)	10月2日(水)
期限③ 市・県福・養護学校→大会事務局	7月23日(火)	7月23日(火)	7月23日(火)	8月13日(火)	8月13日(火)	8月13日(火)	10月8日(火)

3. 申し込み後の変更

申し込み締め切り後の参加競技種目の変更は認めない。

4. その他

- 競技に参加する者は、競技可能な健康状態であること。
- ぼうこうまたは直腸機能障害の選手は、必ず参加承諾書を添付すること。
- 競技服装については、その競技に適したものを着用すること。
- ゼッケンは、主催者が交付した市福祉・県健康福祉事務所で保管しているものを使用すること。

なお、布地の色は、次のとおりとする。

- ◎ 肢体不自由者部門 = 白
- ◎ 知的障害者部門 = 桃
- ◎ 精神障害者 = 薄茶 (卓球のみ)
- ◎ 視覚障害者部門 = 緑
- ◎ ぼうこうまたは直腸機能障害 = 青 (陸上・アーチェリー・フライングディスクのみ)
- ◎ 聴覚・平衡・音声・言語、そして機能障害者部門 = 黄

令和6年度 滋賀県民総スポーツの祭典
第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 実施要綱

1. 目的

障害者がスポーツを通じて体力の維持増進を図り、社会参加と相互交流を促進させるとともに、障害者に対する社会の理解と認識を深め、2025年に滋賀県で開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会」に向けた障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図ること、および第24回全国障害者スポーツ大会出場選手選考のための記録を取ることを目的とする。

2. 名称

第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会

3. 主催(予定)

滋賀県、彦根市、草津市、守山市、甲賀市、野洲市、(一社)滋賀県障害者スポーツ協会、(公財)滋賀県スポーツ協会

4. 共催(予定)

大津市、長浜市、近江八幡市、栗東市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

5. 協力(予定)

(一財)滋賀陸上競技協会、(一社)滋賀県水泳連盟、(一社)滋賀県卓球協会、滋賀県アーチェリー協会、滋賀県障害者フライングディスク協会、滋賀県ボウリング連盟、滋賀県ポッチャ連盟、滋賀県ソフトボール協会、(公社)滋賀県サッカー協会、滋賀県バレーボール協会

6. 後援(予定)

滋賀県教育委員会、(公財)滋賀県身体障害者福祉協会、(公社)滋賀県手をつなぐ育成会、滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会、滋賀県特別支援教育研究会、滋賀県高等学校等教育研究会特別支援教育研究部会、(福)滋賀県社会福祉協議会、日本赤十字社滋賀県支部

7. 競技実施日・会場等

【個人競技】

競技(参加対象)	開催日 予定時間	会場(所在地)
(A) ボッチャ (身体障害者)	2024年9月7日(土) 10:00~17:00	甲賀市立水口体育館 (甲賀市水口町鹿深3-46)
(B) フライングディスク (身体・知的障害者)	2024年9月14日(土) 9:30~15:30	水口スポーツの森 (甲賀市水口町北内費230)
(C) 陸上 (身体・知的障害者)	2024年9月29日(日) 8:45~16:00	平和堂HATOスタジアム (彦根市松原町3028)
(D) 水泳 (身体・知的障害者)	2024年10月5日(土) 9:30~15:30	草津市立プール (草津市西大路外地先)
(E) アーチェリー (身体障害者)	2024年10月12日(土) 9:30~15:30	県立障害者福祉センター (草津市笠山8-5-130)
(F) ボウリング (知的障害者)	2024年10月12日(土) 10:00~13:30	ラピュタボウル彦根 (彦根市竹ヶ鼻町43-1)
(G) 卓球 (身体・知的・精神障害者)	2024年11月16日(土) 9:00~16:30	野洲市総合体育館 (野洲市富波甲1339)

【団体競技】

競技(参加対象)	開催日 予定時間	会場(所在地)
(H) バレーボール (精神障害者)	2024年11月2日(土) 10:00~15:00	県立障害者福祉センター (草津市笠山8-5-130)
(I) ソフトボール (知的障害者)	2024年11月17日(日) 8:30~17:00	守山市民運動公園 (守山市三宅町100)
(J) サッカー (知的障害者)	2024年11月17日(日) 8:30~17:00	ビッグレイク (守山市服部町2439)

(E) アーチェリー競技は荒天時中止。

(B・C) 陸上競技・フライングディスク競技は荒天時全種目中止。

(I) ソフトボール競技はグラウンド不良の場合は中止。

8. 競技種目

競技種目は、全国障害者スポーツ大会実施種目とし、別表1「第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 競技種目および障害区分表」のとおりとする。

9. 参加資格

- (1) 県内在住で身体障害者手帳を有する、2024年4月1日時点で12歳以上の者。
- (2) 県内在住で療育手帳を有するか取得に準ずる障害がある2024年4月1日時点で12歳以上の者。
- (3) 県内在住で精神保健福祉手帳または自立支援医療(精神通院)受給者証を有する、2024年4月1日時点で12歳以上の者。
- (4) (1)から(3)項に規定する者のうち、全国障害者スポーツ大会の障害区分に該当する者。(別表1「第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会競技種目および障害区分表」の障害区分に該当する者。)

10. 参加申込み方法

【個人競技】参加希望の場合、別紙 第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会「参加申込書」により、提出期限内に所轄の市町障害福祉窓口へ申し込むものとする。但し、フライングディスク、陸上、卓球については養護学校単位での参加取りまとめがある場合のみ、学校単位での参加とする。

【団体競技】参加希望チームは事前エントリーとして「チーム名」「代表者連絡先」を提出期限内に大会事務局へ報告する。

11. 参加種目および障害区分

【個人競技】

(1) 2025年第24回全国障害者スポーツ大会(滋賀大会)への出場希望がある場合

様式1号の⑩-01全国大会出場希望欄に☑を入れて申込みをすること。

(2) 陸上競技(身体障害・知的障害)

① 全国大会出場希望者は、午前から1種目、午後から1種目の計2種目を選び出場すること。

② 県大会のみ出場希望者は1人1種目とする。

③ 4×100mリレーについては、各地区および学校等から参加できる。但し、リレーのみの参加は認めない。地区からの出場は、当日の参加選手の中から各地区で選考し、メンバー表を提出すること。また、学校等からの出場は、個人申込とともにエントリーを行うこと。なお、リレーメンバーには女子が1名以上入ること。(リレー該当の障害区分以外の選手および男子のみのチームはオープン参加とする。)

(3) ボウリング競技(知的障害)

① 全国大会希望者は3ゲーム、その他は2ゲーム(一般参加者)とし、貸し靴が必要な場合は個人負担とする。

② 全国大会希望者クラスに出場する男子はアベレージ130点以上が見込めるものを対象とする。

③ 全国大会希望者クラスに出場する女子はアベレージ100点以上が見込めるものを対象とする。

(4) 水泳競技(身体障害・知的障害)

① 出場可能種目は1人3種目以内とする。

② 全国大会出場希望者は年齢区分・障害区分に該当する2種目以上を選び出場すること。

③ 4×25mフリーリレーについては、チームエントリー(4名1組)と個人エントリーを選ぶこと。チームエントリーの場合は、チーム名および自分以外のメンバー3名の氏名を記入すること。個人エントリーの場合は、大会主催者で4人1組のリレーメンバーを組み合わせることとする。但し、リレーのみの参加は認めない。

(5) アーチェリー競技(身体障害)※視覚障害を除く

① 競技種目はリカーブ部門、コンパウンド部門を設け、各部門で30mダブルラウンドおよび50m・30mラウンドを実施する。

② それぞれの実施種目で210点(72射)以上の得点が見込める者を対象とする。

③ 荒天時中止する。

④ 年齢区分を設けない。

(6) フライングディスク競技(身体障害・知的障害)

全国大会出場希望者は、アキュラシー競技とディスタンス競技の2種目に出場すること。

(7) 卓球競技(身体障害・知的障害・精神障害)

① 競技は一般卓球2クラス(身体/知的クラス・精神クラス)とサウンドテーブルテニス(STT)を行なう。

(8) ボッチャ競技(身体障害)

① 参加対象は全国障害者スポーツ大会障害区分該当者とする。

② 競技は競技スタイル(立位・座位)に分けて1対1の個人戦を行う。性別・年齢・障害区分毎には分けずに競技を行うこととする。

【団体競技】詳細については別に定める

12. 参加選手・組み合わせの決定

【個人競技】

提出された申込書に基づき、主催者において組合せを決定するものとする。

【団体競技】

各チームから提出されたチーム申込書に基づき、主催者において組合せを決定するものとする。

13. 競技規則

競技規則は、(公財)日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」と本大会申し合わせ事項による。

14. 表彰

【個人競技】

表彰は、個人表彰・優秀選手表彰とする。また、個人競技の競技支援者(陸上の伴走者・ボッチャのランプオペレーター)についても選手と同様に表彰する。

【団体競技】

各競技の優勝チームおよび選手を表彰する。

15. その他

(1) 大会には、主催者が一括して傷害保険に加入するが、事故等が発生した場合の応急処置を除き一切の責任は負わないので、参加に当たって必要な場合は、医師の診断を受けるなど自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

(2) 身体障害者手帳を有する者は1部(39歳以下)と2部(40歳以上)に分け(アーチェリー競技・ボッチャ競技を除く)、療育手帳を有する者およびその取得に準ずる障害のある者については、少年(19歳以下)、青年(20歳以上35歳以下)、壮年(36歳以上)に分けて競技するものとする。ただし、フライングディスク競技については、年齢区分・障害区分は設けないものとする。また、卓球競技の精神保健福祉手帳または自立支援医療受給者証を有する者については、年齢区分を設けないものとする。

(3) 本大会は、第24回全国障害者スポーツ大会出場候補選手の選考記録会を兼ねるものとする。

個人競技

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

				競 走							跳 躍			投てき					
				50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバッグ投	
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断、片前腕切断、片上肢不完全・片上腕切断、片上肢完全	◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎			
			2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断、両上肢不完全	◎	◎						▲	◎	◎					
			3	両上腕切断、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎					
		下肢	4	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿・片大腿切断、両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎		
			8	両大腿切断、両下肢完全											◎	◎	◎		
		体幹	9	体幹	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用・使用	10	第6頸髄まで残存	◎	◎				◎								◎	
			11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎								◎	
			12	第8頸髄まで残存						◎					◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
	3	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血疾患、脳外傷等)	15	その他の車いす		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			16	四肢麻痺で車いす使用	◎					◎									◎
			17	けって移動	◎					◎									◎
			18	片上下肢で車いす使用	◎					◎						◎	◎		
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎		
			20	その他走不能											◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎		◎				◎	◎	◎	◎	◎		
			22	その他走可能	◎	◎	◎		◎				◎	◎	◎	◎	◎		
	4		23	電動車いす常用						◎								◎	
視覚障害			24	視力0から0.01まで	◎	◎	◎		◎			◎	◎	◎	◎	◎			
			25	その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎				▲	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			26	聴覚障害	◎	◎	◎		◎			▲	◎	◎	◎	◎			
知的障害			27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎		
内部障害			28	ぼうこうまたは直腸機能障害	◎				◎				◎	◎		◎	◎		

※ 4×100mリレーは男女混合とする。

※ 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※ 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※ 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを着用する。

※ 体幹とは、頭部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊柱カリエス等による体幹の障害が該当する。）ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹機能障害があってもこの区分には該当しない。

※ 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

注)陸上競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申込むことはできない。

2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

				自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		
				25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			2	片前腕切断、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			3	片上腕切断、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			4	両前腕切断、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			5	両上腕切断、両上肢完全、片前腕・片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
		下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			7	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			8	両下腿切断、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			9	両大腿切断、両下肢完全、片下腿・片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎	
		上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断、片上肢不完全・片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎	
			11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全、両上肢不完全・両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎	
		2	脳原性麻痺以外で車いす常用	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	◎
	13			第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎			
	14			第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○
	15			下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○
	脳原性麻痺		16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	◎		●	○
			17	四肢麻痺(車いす常用)、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎			
			18	両下肢麻痺、上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎	
	3		20	その他片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			21	その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			22	浮具使用	◎	◎	◎		◎			
視覚障害			23	視力0から0.01まで	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○
知的障害			26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※ 障害区分23は光を通さないゴーグルを着用する。

<別表1> 第62回滋賀県障害者スポーツ大会 兼全国大会選考会 競技種目および障害区分表

3. アーチェリー

●男女別

			障 害 区 分	リカーブ		コンパウンド	
				30m ダブル	50m・ 30m	30m ダブル	50m・ 30m
肢体 不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害(いす・車いす使用を含む)	●	●		
	脳原性麻痺	5	体幹	●	●	●	●
		6	脳原性麻痺	●	●		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害		7	聴覚障害	●	●		
内部障害		8	ぼうこうまたは直腸機能障害	●	●		

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4. 卓球

◎男女別・年齢区分別

●男女別

				卓球	STT	
肢体不自由	1	上肢	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢	3	片下腿切断、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断、両下腿切断、片下肢完全、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿・片大腿切断、両大腿切断、両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用・使用	7	第8頸髄まで残存	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺	10	車いす使用	◎	
			11	杖・松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害			15	アイマスク・アイシェードあり		◎
			16	アイマスク・アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※ 視力・視野に関わらず、アイマスク・アイシェードの有無で出場競技を分ける。

5. フライングディスク

◇区分なし

●男女別

		アキュラシー		ディスタンス	
		デイスリート5	デイスリート7	座 位	立 位
肢体不自由					
視覚障害					
聴覚障害		◇	◇	●	●
知的障害					
内部障害(ぼうこうまたは直腸機能障害)					

6. ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

7. ボッチャ

△男女混合・年齢区分なし

				競技スタイル		ボッチャ 個人戦
				立位	座位	
肢体 不自由	1	切断・機能障害	1	多肢切断、両下肢完全、両上肢不完全および両下肢不完全	△	
	2	脳原性麻痺以外 で車いす常用・ 使用	2	第6頸髄まで残存	△	
			3	第7頸髄まで残存	△	
			4	第8頸髄まで残存	△	
			5	多肢切断で座位	△	
			6	四肢麻痺で車いす常用または、使用	△	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳 血疾患、脳外傷 等)	7	けって移動	△	
			8	片上下肢で車いす常用または、使用	△	
			9	その他走不能	△	
	4		10	電動車いす常用	△	

※ 座位とは車いすおよび椅子に座った競技スタイルを言う。

※ 座位で競技する選手(区分2～8および10)で、移動したり方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを、ランプ使用者にはランプオペレーターをそれぞれ選手1名につき1名を認める。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

※ 脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調性障害がある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺(区分6)として区分判定する。

※ 区分10は、四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者を対象とする。

団 体 競 技

8. ソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

9. バレーボール

精神障害者で、男女混合で実施する。

10. サッカー

知的障害者のみの競技とする。